

委員会活動

常任委員会
小委員会
特別委員会



トレーニングセンターアリーナ床
改修工事現場の現地視察（11/5）



自然運動公園百年記念塔改修工事
完成箇所現場視察（11/6）

総務文教常任委員会

第5回（11月5日）

- ・町内視察結果について
- ・議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ・特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- ・職員に対する寒冷地手当の支給に関する条例の一部改正について
- ・北海道北見支援学校へのスクールバスの運行について

第6回（12月2日）

- ・議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

産業福祉常任委員会

第5回（11月6日）

- ・町内視察結果について
- ・公の施設に係る指定管理者の指定について（森の健康館及び山村体験宿泊施設）

- ・国民健康保険条例の一部改正について

第6回（12月3日）

- ・公の施設に係る指定管理者の指定について（森の健康館及び山村体験宿泊施設）
- ・新ふるさと定住促進条例の一部改正について
- ・簡易水道事業給水条例の一部改正について

議会広報常任委員会

第1回（1月15日）

- ・議会報196号の編集について

議会運営委員会

第9回（10月22日）

- ・第6回津別町議会臨時会の運営について

第10回（11月27日）

- ・第7回津別町議会臨時会の運営について
- ・令和5年度各会計決算の認定について

第11回（12月10日）

- ・第8回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書等の取り扱いについて

ICT整備検討小委員会

第7回（7月25日）

- ・ICT導入に向けた課題整理について

第8回（11月25日）

- ・ICT導入に向けた課題整理について

まちなか再生事業調査特別委員会

第10回（11月25日）

- ・まちなか再生について

議会の録画映像を配信しています

インターネットを利用した定例会の録画配信を行っています。

町のホームページにアクセスしてご覧ください。

※「YouTube」による配信です。



QRコードからも
アクセスできます。



町長行政報告

報告された事項

第6回臨時会 （10月23日）

- 町長の職務代理者の設置 ■阿寒摩周国立公園90周年記念式典 ■第20回全国まちづくり交流会 in津別町の開催 ■北海道東トレイル及び屈斜路カルデラトレイルの開通 ■エコツーリズム町民学習会の開催 ■医療・介護・地域の支えあい まちづくりフォーラムの開催

第7回臨時会 （11月28日）

- 町長の職務代理者の設置 ■令和6年度まちづくり懇談会 ■北見地域定住自立圏合同災害訓練 ■幸町地区コミュニティ施設オープン式典 ■ヒグマの捕獲状況

第8回定例会 （12月17日）

- 北海道大学の課外活動団体「HALCC（ハルク）」による成果報告会 ■建設工事等の発注状況

「報告会」を開催



第10回目となる議会報告会を11月8日午後6時から、さんさん館で開催し、14人が参加した中、議会の役割・構成・各常任委員会・全員協議会などの開催状況等を報告し、その後、4つの小グループに分かれて意見交換を行い、町政や議会に対するさまざまな意見要望が出されました。なお、寄せられた主な意見等を次のとおり整理しました。

ご意見・ご要望

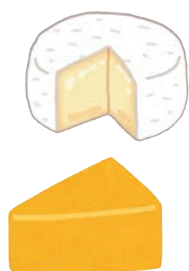
●北海道つべつまちづくり会社について、配当はされたのか。また、累積赤字はいくらなのか。

●まちなか再生事業で整備した、大通棟・幸町棟は、施設の運営・管理をする指定管理者が本当に必要だったのか。

●体験交流施設等は、お金をいただくのではなく、少しサポートをして入っていたく形にしては。

●議会は、さまざまな団体と交流を持ち、意見を聞いたと思うが、結果が報告の中に記載されていないのはなぜか。

●数年前に5000万円程で整備したチーズ工房はどうなったのか。



Aグループ

参加者の意見

●高齢で運転ができなくなった時のことを考えると、ドラッグストアは楽しみだ。



●商店などで、経営状況が厳しい人がいるとも聞いている。この町に、長く住んでいけるような地域をつくっていかねければならない。
●町長のまちなかづくり懇談会がなかったのは残念。
●産業まつりが終了したと聞いたが、本当にそれで良いのか。

Bグループ

参加者の意見

●将来、一人暮らしになっても生きていけるような福祉施設があると良い。



のか。何らかの形で、農業の町津別で採れた野菜等を買えるような、そういった場所が必要なのではないか。

●特別養護老人ホームについて、個室化が進められているようだが、負担が増えるのではないかと。料金は安くなるような選択はできないのか。

●町の財政について、町内で快適に過ごしていけるように、しっかりと確保してほしい。

●公営住宅について、条件が合わず入れない方がいると聞いている。町の条例を変えてみては。
●産業まつりについて、行政

Cグループ

参加者の意見

●側の協力も得ながら、再度実施してみても。
●道具や工具などを借りられるような取り組みがあると良い。



●町がいろいろな建物を建てているので、議会は財政状況の監視を頑張つてほしい。
●移住対策について、津別の担当の方は、しっかりとやっている。

●空き家が増えてきたが、それに付随して荒れ放題の庭が増えている。そういった問題にも向き合っていくべきではないか。
●自治会で、お葬式を出すのが困難になってきている。

「議会報」



Dグループ

参加者の意見

- 図書館、ランプの宿を利用したことがない人が多いのではないかな。運営をもっと考えたほうが良いのではないかな。
- 図書館のイベント等について、もう少し検討の余地があるのではないかな。
- 議会行事は、若い人に興味を持ってもらえる内容にしてほしい。

- 人口減少に関して、東京と比べれば涼しいので、もっと人を呼ぶ努力、および方策を考えるべきではないかな。
- 人口流失問題および老人福祉に関して、もっと工夫しても良いのではないかな。
- 議会は、もっと主体的に活動してほしい。
- 行政に対する質問や、自論の演説を、この報告会で議員にぶつける人が散見されます。
- 意見交換の時間があり、良かったです。
- お祭りを復活させていただき、ありがとうございます。
- 話し合いの内容を町民に伝えれば、もっと参加者も増えると思う。

議会報告会アンケートより



「議員研修会」を開催



11月29日、議会議事堂にて、新潟県立大学 国際地域学部 田口一博先生を講師に迎え、町民公開で開催しました。

テーマは、「小さな町の議員たちからできること、するべきこと」「将来の現職議員の勇退に備えてしておくべきこと」の二点について、お話を伺いました。

講義のあと、議員や参加者からさまざまな質問や感想が出され、先生からは適切なアドバイスをいただき、研修会は大変有意義なものとなりました。

青年・女性と議員が ワールドカフェで語り合う



昨年に続き4回目となる議会と住民による意見交換会を11月30日に開催。今回は、青年・女性団体から24人と議員10人が、ワールドカフェ方式で「ずうっと住み続けたいまち津別大作戦！」をテーマに、7グループに分かれて討論。途中、グループを変える席替えもしながら、津別町のまちづくりについて語り合いました。（主な意見を紹介します）

ワールドカフェとは

ワールドカフェは、カフェのようなリラックスした雰囲気の中、4〜5人のグループで「対話」を重視した話し合いの型式です。結論や解決策は求めなく、新しい視点やアイデアを出すのが目的です。

この日集まったのは、7青年団体から13人、4女性団体からは11人。10人の議員は7グループのホスト（進行役）を担当し、ステップごとのテーマで話し合い、最後はグループ発表で共有しました。

津別町の自慢できるところ、残念なところは

ステップ1は、まずは津別町の自慢できるところを出し合いました。

- 水と空気がおいしい
- 星がキレイ
- 自然環境がいい
- 木材産業が充実している
- 若者でも土地付きの自分の家が持てる
- いろんな農作物を作れる



次に残念なところは、

- 道路がガタガタ
- 夜の語らいの場がない
- 夜に食事するところがない
- 住みにくい、住宅がない
- 若い人が少ない
- 賃貸物件が少ない
- 小児科がなく通院が大変
- 中学生から育てにくい
- 町外高校生への通学補助がない
- 子どもの部活送迎が議会に言っても前に進まない
- 人口減少で塾生には厳しい
- 小・中学生が遊べる遊具を

- 森を活かしたイベントがあつてステキ
- 町の人がやさしい

ずうっと住み続けられるまち 津別大作戦！

こんな町であってほしい、こんな町にしよう

ステップ2は、ホストを残して他のメンバーは席替えをしました。新しいメンバーで語り合うのは、「津別町にずうっと住み続けるために、こんな町であってほしい、こんな町にしていこう」です。

● 飲みに行けるお店がたくさんほしい

● 気軽にチャレンジできる町に

● 老後が安心の町

● 若い人が活躍できる町

● 津別ブランドを確立する

● お互いの困りごとを助けられる仕組みを

● 管内一楽しい教育をする町

● ファミリーサポートのある町（子どもを預かったり）

● 農林業を振興する町

● 津別病院を新築して

● 農村の携帯不感地帯解消

● ミスナラ樽でお酒を造る



アドバイザー
田口 一博氏
(新潟県立大学准教授)

7グループの発表後にそれぞれコメントをいただきました。

- ・ 稼げる町とは、新潟県山古志村は稲作の他に錦鯉を養殖。1匹最高値2億1千万円にも。津別も農業とほかに価値あるものをつくれなにか。
- ・ 津別の林業を活かしてカーボンニュートラルで町民税をゼロにし、富裕層を呼び込めば可能性が広がる。
- ・ 何が儲かるのか、ワールドカフェでみんなの知恵を横回転しながら考えてほしい。

ずうっと住み続けるためのアイデアを

ステップ3では、メンバーは元のステップ1のグループに戻る席替えをし、「津別町



にずうっと住み続けるためのアイデア」を出し合いました。

- 地域サポートを充実（お互い助けられるシステム）
- 大卒後に津別に戻って来れる対策を
- 町民が稼げる町
- 水道料を無料にする
- 移動はヘリコプターを使うことで富裕層を呼び込む
- 玉ねぎを使った加工食品
- 人口減少の中でも今の企業が残れる対策を
- 小中高の魅力ある学校を
- 農家の看板を面白くする
- 税負担を軽減する

参加者アンケート

● 世代、性別を超えて意見交換ができてとても良かった。出た意見を議会で話し合ってほしいです。

● 小人数で話し合うスタイルは意見を出しやすい。町に住んでいる人が魅力を感じて、町外の人も来たいと思う町になってほしい。

● グループの席替えは時間的に無理があったかな。直接議員と話すことがないので良い機会でした。



議会日誌

10月

- 22日 第2回決算審査特別委員会
第9回議会運営委員会
23日 第6回津別町議会臨時会
25日 北網ブロック市・町議会正副議長
会議（清里町）

11月

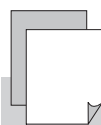
- 1日 網走郡下正副議長会議（津別町）
5日 第5回総務文教常任委員会
6日 第5回産業福祉常任委員会
8日 議会報告会（津別町）
12日 オホーツク町村議会議長会役員
会・町村議会議長全国大会（東京
都）
13～16日 北網ブロック町議会議長会府県行政
委託調査（宮崎県、鹿児島県）
22日 オホーツク圏活性化期成会秋季要望
（札幌市）
25日 第10回まちなか再生事業調査特別
委員会
第8回ICT整備検討小委員会
27日 第10回議会運営委員会
28日 第7回津別町議会臨時会
29日 議員研修会（津別町）
30日 青年・女性団体と議会議員との意見
交換会（津別町）

12月

- 2日 第6回総務文教常任委員会
3日 第6回産業福祉常任委員会
10日 第11回議会運営委員会
17～18日 第8回津別町議会定例会
17日 第7回全員協議会

1月

- 15日 第1回議会広報常任委員会



意見書

関係行政庁へ
提出しました

■刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書

■選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書

【要旨】

民法第750条は、「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する」と定め、夫婦同姓を義務付けている。その結果、多くの女性が婚姻に際して改姓し、アイデンティティの喪失に直面したり、仕事や研究等で築いた信用や評価を損なったりするなどさまざまな場面で不利益を被っている現実がある。

これらは「婚姻の自由」や「氏名の変更を強制されない自由」などの人権に関わる問題であり、憲法や女性差別撤廃条約・自由権規約に反するものであることから、速やかに是正すべきである。

旧姓の通称使用を拡大しても、金融機関等との取引や海外渡航の際の本人確認、公的機関・企業とのやり取り等での困難は避けられず、これまで名乗ってきた姓を婚姻後も名乗り続けたいとの希望が叶えられることはない。

この問題を根本的に解決するためには、選択的夫婦別姓制度を導入すべきである。選択的夫婦別姓制度の導入は、夫婦が同じ姓を名乗る現在の制度に加えて、希望する夫婦が別姓を名乗ったまま婚姻できる制度を認めるものであり、同じ姓を名乗ることを希望する夫婦の選択を妨げるものではない。それは同時に、婚姻しようとする夫婦の選択肢を増やすことであり、多様性が尊重される社会、男女共同参画社会の実現につながり、社会に活力をもたらすものでもある。

よって、国に対し、夫婦同姓を義務付ける民法第750条を速やかに改正し、選択的夫婦別姓制度を導入するよう強く要望する。

は ぐ る ま

昨年は元日から石川県能登半島での地震が発生し、台風や集中豪雨などの自然災害が多発した一年でした。私たちの住む津別町は大きな災害もなく平穏な年でした。このことに感謝しなければと思うところ

です。コンパクトシティを目指す町の風景は、役場庁舎の建設に始まり、大通棟（スーパリーや図書館、ハイヤー、バスターミナル）の完成と昨年11月には幸町棟（ドラッグストア）の完成により、買い物環境の整備ができ、利便性が高まったことでしょう。

一方、私たちの生活に目を向けると、時間給や給与の上昇があつたものの、「可処分所得」は上がらず、生活面での物価高に苦労している現実があります。

直近の議会が今期最後となり、全員の議員がそれぞれ町の課題について町長や教育長に質問し、提案をしたところです。いづれにしても、小さくてもきらりと光る町を目指す、産業や観光、福祉に教育、一人一人が住んでいて良かったと思える町づくりを共にがんばろう！

（篠原）